

マーティン・マクドナーの最新戯曲が  
長塚圭史×小川絵梨子の初タッグで日本初上演！

# ハングマン

## HANGMEN



【作】マーティン・マクドナー

【翻訳】小川絵梨子 【演出】長塚圭史

【出演】田中哲司 秋山菜津子 大東駿介 宮崎吐夢 大森博史 長塚圭史  
市川しんぺー 谷川昭一朗 村上航 富田望生 三上市朗 羽場裕一

【京都公演】2018年6月15日(金)～6月17日(日)ロームシアター京都 サウスホール

ほか 埼玉・東京・豊橋・北九州公演あり

【主催】ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）、京都市

【企画製作】株式会社バルコ

【企画協力】ゴーチ・ブラザーズ

【運営協力】サンライズ・プロモーション大阪

## 長塚圭史、11年ぶりにマクドナー作品を演出。

### 2016年 ローレンス・オリヴィエ賞「BEST PLAY」を受賞した超話題作。

『ウィー・トーマス』(2003年・2006年)、『ピローマン』(2004年)、『ビューティー・クイーン・オブ・リナーン』(2007年)に続き、長塚圭史が挑むのは、マクドナーの最新戯曲『ハングマン HANGMEN』。

本作はマクドナーにとって、2005年にブロードウェイで初演された『スポケーンの左手』以来、ロンドンでは2003年にナショナル・シアターで初演された『ピローマン』以来、待望の書き下ろし作品となり、2015年9月にロンドンのロイヤルコートシアターで幕を開けるとたちまち評判を呼び、同年12月からウエストエンドで上演開始、2016年ローレンス・オリヴィエ賞「BEST PLAY」に輝いた超話題作です。

## 共にマクドナー作品を演出して注目を集めた長塚圭史×小川絵梨子が初タッグ！

演出の長塚圭史は、マクドナー作品では、読売演劇大賞優秀演出賞、朝日舞台芸術賞などを受賞。その斬新で挑戦的な演出は日本演劇界を騒然とさせました。そこにいる人間の渴望、悪意、不器用な愛情。不吉な訪問者。そしてブラックユーモア。マクドナーをこよなく愛す長塚が、本作でもその独特な世界観で観客を魅了します。

また、**翻訳**は自身も数多くのマクドナー作品を翻訳・演出してきた**小川絵梨子**が手掛け、**長塚圭史との初タッグ**が実現。息つく間もないスリリングな舞台にどうぞご期待ください！

## 演劇界・映画界最注目クリエイター、マーティン・マクドナー最新戯曲！

『ハングマン』は、2004年以降、兼ねてから希望していた映画界で創作活動を続けていたマーティン・マクドナーのロンドンでの**待望の演劇復帰作**であり、「1965年の絞首刑の廃止の余波」をマクドナー特有のブラックユーモアを持って描いた本作により、マクドナーは演劇界への輝かしい帰還を果たしました。

## 監督・脚本作「スリー・ビルボード」が本年度ゴールデングローブ賞最多4部門受賞、アカデミー賞2部門受賞。

また映画監督としても、「**スリー・ビルボード**」(2018年2月1日より全国ロードショー/配給：20世紀フォックス映画)で、アカデミー賞作品賞への最短距離として近年注目されている、トロント国際映画祭観客賞受賞。先に開催されたベネチア国際映画祭でも脚本賞、**今年のゴールデングローブ賞では最多4部門を受賞**。

そして、**アカデミー賞主演女優賞・助演男優賞の2部門を受賞**。日本でも、公開後、大ヒットスタートを切っており、話題を集めています。

演劇界・映画界共に、今最も注目を集めるクリエイターの一人となったマクドナーの最新戯曲(2018年3月22日時点)の日本初上演です。

## 個性豊かなキャストが勢揃い！

出演者には、個性豊かな顔ぶれが揃いました。主人公ハリーには**田中哲司**、アリス／ハリーの妻には**秋山菜津子**、ムーニー／ロンドン訛りの若者には**大東駿介**、シド／ハリーの助手には**宮崎吐夢**、アーサー／常連客には**大森博史**、チャーリー／常連客には**市川しんぺー**、ビル／常連客には**谷川昭一朗**、ヘネシー／死刑囚には**村上航**、シャーリー／ハリーの娘には**富田望生**、ピアポイント／有名な死刑執行人には**三上市朗**、フライ警部／常連客には**羽場裕一**、そして、演出の**長塚圭史**もクレグ／地方紙の記者役で出演いたします。アクの強い個性派俳優が勢揃いし、マクドナーの世界観を彩ります。

## HANGMEN <オリジナル・プロダクション 受賞歴>

「ハングマン」は、2004年以降、兼ねてから希望していた映画界で創作活動を続けていたマーティン・マクドナーの ロンドンでの待望の演劇復帰作であり、「1965年の絞首刑の廃止の余波」をマクドナー特有のブラックユーモアを持って描いた本作により、マクドナーは演劇界への輝かしい帰還を果たしました。そして、英ナショナル・シアターが世界の問題の舞台を厳選して贈る「ナショナル・シアター・ライブ」のラインナップにも選ばれ、各国の映画館で上映されました。

2016年 ローレンス・オリヴィエ賞	Best Play(最優秀作品賞)、Best Set Design(最優秀舞台デザイン賞)
2016年 サウスバンク・スカイ・アーツ賞	Theatre Award(最優秀演劇賞)
2015年 クリテックス・サークル・シアター賞	Best New Play(最優秀新作賞)、Best Designer(最優秀舞台デザイナー賞)
2015年 イーブニング・スタンダード・シアター賞	Best Design(最優秀舞台デザイン賞) ほか

★★★★★ 本年度最高の新作	-英デイリーテレグラフ紙
★★★★★ 今ロンドンで最も面白い舞台	-英タイムアウト
★★★★★ 最高に笑える作品	-英インディペンデント紙
★★★★★ 劇的な緊張感に思わず引き込まれる	-英サンデータイムズ

## STORY

### 「俺だって腕はいい！ピアポイントと同じくらいに！！」

1963年。イングランドの刑務所。ハングマン＝絞首刑執行人のハリー(田中哲司)は、連続婦女殺人犯ヘネシー(村上航)の刑を執行しようとしていた。しかし、ヘネシーは冤罪を訴えベッドにしがみつき叫ぶ。「せめてピアポイント(三上市朗)を呼べ！」。ピアポイントに次いで「二番目に有名」なハングマンであることを刺激され、乱暴に刑を執行するのだった。

2年後。1965年。イングランド北西部の町・オールダムにある小さなパブ。死刑制度が廃止になった日、ハングマン・ハリーと妻アリス(秋山菜津子)が切り盛りする店では、常連客(羽場裕一・大森博史・市川しんぺー・谷川昭一朗)がいつもと変わらずビールを飲んでた。新聞記者のクレグ(長塚圭史)は最後のハングマンであるハリーからコメントを引き出そうと躍起になっている。そこに、見慣れない若いロンドン訛りの男、ムーニー(大東駿介)が入ってくる。不穏な空気を纏い、不思議な存在感を放ちながら。

翌朝、ムーニーは再び店に現れる。ハリーの娘シャーリー(富田望生)に近づいて一緒に出かける約束をとりつけるが、その後姿を消すムーニーと、夜になっても帰って来ないシャーリー。そんな中、ハリーのかつての助手シド(宮崎吐夢)が店を訪れ、「ロンドン訛りのあやしい男が『ヘネシー事件』の真犯人であることを匂わせて、オールダムに向かった」と告げる。娘と男が接触していたことを知ったハリーは・・・！

謎の男ムーニーと消えたシャーリーを巡り、事態はスリリングに加速する。

## スタッフプロフィール



**小川絵梨子 (おがわ・えりこ)**

**【翻訳】**

1978年10月2日生まれ、東京都出身。04年米アクターズスタジオ大学院演出学科卒業。10年に一時帰国して翻訳・演出を手掛けた「今は亡きヘンリー・モス」で日本演劇界から注目されるようになった。小田島雄志・翻訳戯曲賞、読売演劇大賞(杉村春子賞・優秀演出家賞)、紀伊国屋演劇賞個人賞、千田是也賞、菊田一夫演劇賞など受賞歴多数。これまでに「ビューティ・クイーン・オブ・リーナン」(17/演出・翻訳)、「スポークンの左手」(15/演出・翻訳)、「ロンサム・ウェスト」(14/演出・翻訳)、「ピロマン」(13/演出)でマーティン・マクドナー作品の手掛けている。その他の近年の作品に、「ローゼンクランツとギルデンスターンは死んだ」(17/演出・翻訳)、「マリアの首-幻に長崎を想う曲-」(17/演出)、「令嬢ジュリー」「死の舞踏」(17/演出・台本)、「いま、ここにある武器」(16/翻訳)、「コペンハーゲン」(16/演出)、「RED」(演出・翻訳)などがある。



**長塚圭史 (ながつか・けいし)**

**【演出】【クレッグ／地方紙の記者 役】**

1975年5月9日生まれ、東京都出身。1996年、演劇プロデュースユニット「阿佐ヶ谷スパイダース」を旗揚げ、作・演出・出演の三役を担う。2008年、文化庁新進芸術家海外研修制度にて1年間ロンドンに留学。帰国後の2011年、ソロプロジェクト「葛河思潮社」を始動。芸術選奨文部科学大臣新人賞、読売演劇大賞優秀演出家賞など受賞歴多数。近年の主な出演作に、【ドラマ】「あさが来た」(15・NHK)、「Dr.倫太郎」(15・NTV)、「映画」「花筐」(17)、「バケモノの子」(15)、「舞台」「かがみのかなたはたなかのなかに」(17・15/作・演出・出演)、「王将」「プレイヤー」(17/演出)、「はたらくおとこ」(16/作・演出・出演)、「浮標」(16・12・11/演出)、「夢の劇-ドリーム・プレイ-」(16/台本・出演)、「ツイズ」(15/作・演出)、「十一びきのネコ」(15/演出)、「蛙昇天」(15/演出)など。

## キャストプロフィール



**田中哲司 (たなか・てつし)**

**【ハリー 役】**

1966年2月18日生まれ、三重県出身。蜷川カンパニーなど多くの舞台に出演。現在は、テレビや映画、舞台などで幅広く活躍。2015年に出演した舞台「RED レッド」(翻訳・演出:小川絵梨子)で第50回紀伊国屋演劇賞個人賞を受賞。近年の主な出演作に、【ドラマ】「NO MOVIE,NO LIFE」(18・WOWOW)、「BG～身辺警護人～」(18・EX)、「緊急取調室」(17・EX)、「CRISIS公安機動捜査隊特捜班」「君に捧げるエンブレム」(17・CX)、「新宿セブン」(17・TX)、「沈黙法廷」(17・WOWOW)、「映画」「夜空はいつでも最高密度の青空だ」(17)、「ピリギャル」「ST赤と白の捜査ファイル」(16)【舞台】「サメと泳ぐ」(18.9月上演)、「ザ・空気」(17)、「浮標」「同じ夢」(16)、「オレアナ」(15) など。



**秋山菜津子 (あきやま・なつこ)**

**【アリス／ハリーの妻 役】**

10月8日生まれ、東京都出身。フリーとしてテレビや映画、舞台などで活動。特に舞台での演技の評価が高く、第36回紀伊国屋演劇賞個人賞、第9回読売演劇大賞優秀女優賞、杉村春子賞、第14回同優秀女優賞、第22回同最優秀女優賞と数々の栄誉に輝く。近年の主な出演作に、【ドラマ】「先に生まれただけの僕」(17・NTV)、「漱石悶々」(16・NHK BSプレミアム)、「映画」「悼む人」(15)、「ピカ☆★☆ンチ LIFE IS HANDたぶんHAPPY」(14)、「舞台」「きらめく星座」「キャバレー」(17)、「DISGRACED」(17)、「8月の家族たち」(16)、「大逆走」(16)、「東海道四谷怪談」(15)など。



**大東駿介 (だいたう・しゅんすけ)**

**【ムーニー／ロンドン訛りの若者役】**

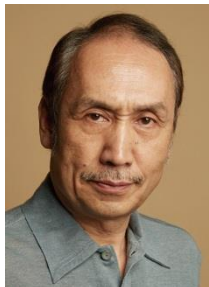
1986年3月13日生まれ、大阪府出身。2005年ドラマ「野ブタ。をプロデュース」(NTV)で俳優デビュー。以降、次々とドラマ・映画に出演。10年に出演したドラマ「タンブリング」(TBS)の舞台版で初舞台にして主演を務め、舞台俳優としても注目を集め、活躍の場を広げる。近年の主な出演作に、【ドラマ】「フリンジマン」(17・TX)、「バウンサー」(17・BSスカパー)、「雲霧仁左衛門3」(17・NHK BSプレミアム)、「花燃ゆ」(15・NHK)、「映画」「曇天に笑う」(18.3.21公開)、「BRAVE STORM」(17)、「望郷『光の航路』」(17)、「ゲキ×シネ『乱鷲』」(17)、「グッドモーニングショー」(16)、「舞台」「ブルートゥ」(18)、「王将」三部作(17)、「乱鷲」(16)、「金閣寺」(12) など。



**宮崎吐夢 (みやざき・とむ)**

**【シド／ハリーの助手 役】**

1970年10月5日生まれ、東京都出身。92年「冬の皮」以降、大人計画作品に参加。テレビ、ラジオ、映画、舞台など幅広く活躍。その個性的な声を活かし、ナレーションやCM、アニメなど声の仕事も多数手がける。近年の主な出演作に、【ドラマ】「**電影少女-VIDEO GIRL AI 2018-**」(18・TX)、「**マッサージ探偵ジョー**」**「闇芝居」**(17・TX)、「**就活家族〜きっと、うまくいく〜**」(17・EX)、「**火花**」(16・Netflix)、「**映画**」**【舞台】**「**椿姫**」**「分身」**(18)、「**ハウス**」**「今が、オールタイムベスト」**「**新世界ロマンスオーケストラ**」(17)など。宮崎吐夢歌謡ショー「**真夏のダイエット (orリバウンド) コンサート(仮)**」(2018.8.24 東京キネマ倶楽部の開催を控えている。



**大森博史 (おおもり・ひろし)**

**【アーサー／常連客 役】**

1954年12月19日生まれ、東京都出身。1975年オンシアター自由劇場に入団。96年の解散まで中心メンバーとして活躍。自由劇場解散後は、舞台を中心に活動。海外の演出家の作品から国内の主だった演出家の作品に出演。洞察力のある安定した演技には定評があり、コメディからシリアス、ストレートプレイからミュージカルまであらゆるジャンルで活躍。近年の主な出演作に、【ドラマ】「**スケープゴート**」(15・WOWOW)、「**癒やし屋キリコの約束**」(15・THK)、「**舞台**」**「白い病気」**(18)、「**24番地の桜の園**」**「空中キャバレー2017」**(17)、「**K・テンペスト**」(17・14)、「**メトロポリス**」**「四谷怪談」**「**漂流劇 ひよこりひょうたん島**」(16)、「**ルーマーズ**」(15) など。



**市川しんぺー (いちかわ・しんぺー)**

**【チャーリー／常連客 役】**

1964年6月12日生まれ、千葉県出身。劇団「猫のホテル」創設メンバー。11年、劇団「おにぎり」を旗揚げし、舞台を中心に、テレビ・映画などの映像作品にも活躍の場を広げている。近年の主な出演作品に、【テレビ】「**過ちスクランブル**」(17・フジテレビTWO)、「**カンナさーん!**」(17・TBS)、「**Chef〜三ツ星の給食〜**」(16・CX)、「**グーグーだって猫である**」(16・14・WOWOW)、「**まれ**」(15・NHK)、「**映画**」**「笑う招き猫」**(17)、「**変態だ**」**「葛城事件」**(16)、「**清須会議**」(13)、「**舞台**」**「髑髏城の七人 Season月<上弦の月>**」**「豪雪」**「**サクラパオー**」(17)、「**ライ王のテラス**」**「詭弁・走れメロス」**「**苦勞人**」**「ワンサくん」**(16)など。



**谷川昭一朗 (たにがわ・しょういちろう)**

**【ビル／常連客 役】**

1966年12月19日生まれ、熊本県出身。90年、劇団東京乾電池に入団。退団後、戸田昌宏とともに、ユニット「プリセタ」を旗揚げし、毎年公演を行っている。プリセタを続けながら、08年東京乾電池へ再入団。舞台を中心に活動している。近年の主な出演作に、【ドラマ】「**我が家の問題**」(18・BS)、「**コードネームミラージュ**」(18・TX)、「**大江戸炎上**」(16・NHK BSプレミアム)、「**ナオミとカナコ**」(16・CX)、「**映画**」**「たまゆら」**(18)、「**葛城事件**」**「傀儡」**「**本牧アンダーグラウンド**」(17)、「**Every Day**」(16)、「**舞台**」**「ゴドーを待ちながら」**「**夏の夜の夢**」**「マリアの首-幻に長崎を想う曲-**」(17)、「**イノチボンパイエ**」(16)、「**漂泊**」**「戒厳令」**「**ガーデン**」(15)など。



**村上 航 (むらかみ・わたる)**

**【ヘネシー／死刑囚 役】**

1971年1月17日生まれ、長野県出身。しっかりとした演技力を持ち、舞台をはじめ、テレビドラマ、映画などで活躍。クセのある顔としなやかな身体を生かし、作家のイメージする世界をしっかりとつくりあげる力量の持ち主。また、「御祝リバーバンド」では、ギタリスト&ボーカルとして、音楽活動も精力的に行う。池田鉄洋作・演出の「**表現・さわやか**」メンバーの一人でもある。近年の主な出演作に、【ドラマ】「**フォーカード**」(18.4.1スタート・TX)、「**越路吹雪物語**」(18・EX)、「**トドメの接吻**」(18・NTV)、「**NHK大河ドラマ**」**「おんな城主 直虎」**(17・NHK)、「**名刺ゲーム**」(17・WOWOW)、「**舞台**」**「高学歴娼婦と一行のボードレール」**(15)など。



**富田望生 (とみた・みう)**

**【シャーリー／ハリーの娘】**

2000年2月25日生まれ、福島県出身。15年「ソロモンの偽証」で映画初出演。以降、話題作への出演が続いており、その個性豊かなキャラクターが愛され出演するたびに話題を集めている。主な出演作に、【ドラマ】「**宇宙を駆けるよだか**」(18年配信予定・Netflix)、「**ぼくらの勇気 未満都市2017**」(17・NTV)、「**メディカルチーム レディ・ダ・ヴィンチの診断**」(16・KTV)、「**映画**」**「あさひなぐ」**「**ポエトリー・エンジェル**」**「チア☆ダン〜女子高生がチアダンスで全米制覇しちゃったホントの話〜**」(17)、「**ホーンテッド・キャンパス**」**「モヒカン故郷に帰る**」(16)など。現在、「**SUN NY 強い気持ち・強い愛**」(2018.8.31公開)の公開を控えている。本作が初舞台となる。



**三上市朗（みかみ・いちろう）**

**【ピアポイント／有名な死刑執行人】**

1966年2月15生まれ、京都府出身。劇団「M.O.P.」座員として同劇公演に参加するほか、外部の舞台、テレビ・映画などでも活動。【ドラマ】「&美少女 NEXT GIRL meets Tokyo」(17・FOD)、「緊急取調室」(17・EX)、「グッドパートナー 無敵の弁護士」(16・EX)、「サムライせんせい」(15・EX)、「ラストホープ」(13・CX)、「映画」「ホワイトリリー」(16)、「僕達急行 A列車で行こう」(12)、「舞台」「ええ、アイ」「やわらかい扉」(17)、「マクベス」(16)、「ORANGE」(13)、「祈りと怪物～ウィルヴェイルの三姉妹～KERAバージョン」「飛び加藤～幻惑使いの不惑の忍者」「レシピエント」(12)など。



**羽場裕一（はば・ゆういち）**

**【フライ警部／常連客】**

1961年4月1日生まれ、長野県出身。82年、野田秀樹主宰の劇団「夢の遊眠社」に入団し舞台を中心に活動。ドラマ「ぼっかばか」シリーズ(94～96・TBS)が話題を呼び、現在はその確かな演技力でテレビ、映画、舞台と幅広く活躍。近年の主な出演作に、【ドラマ】「アイアングランマ2」(18・NHK BSプレミアム)、「女子的生活」(18・NHK)、「鬼畜」(17・EX)、「石つぶて～外務省 機密費を暴いた捜査二課の男たち～」「アキラとあきら」(17・WOWOW)、「明日の約束」(17・KTV)、「ウツボカズラの夢」(17・CX)、「映画」「美しい星」(17)、「つやのよる」(13)、「舞台」「スーツの男たち」(17)、「放浪記」「悪」(15)、「テンペスト」(14)、「象」(13)、「ルーマーズ」(12) など。

**京都公演 概要**

タイトル	「ハンクマン HANGMEN」
作	マーティン・マクドナー
翻訳	小川絵梨子
演出	長塚圭史
出演	田中哲司 秋山菜津子 大東駿介 宮崎吐夢 大森博史 長塚圭史 市川しんぺー 谷川昭一郎 村上航 富田望生 三上市朗 羽場裕一
日程	6月15日（金）19:00 開演 6月16日（土）13:00 開演／18:00 開演 6月17日（日）13:00 開演 ※開場は開演の30分前
会場	ロームシアター京都 サウスホール
主催	ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）、京都市
協力	サンライズプロモーション大阪
企画・製作	株式会社パルコ
企画協力	ゴーチ・ブラザーズ

チケット料金 全席指定・税込 一般 7,500円 ユース（25歳以下）5,500円

※ユースチケットをご購入の方は、公演当日、証明書のご提示いただき、本券（入場券）への引換えが必要です。

チケット発売日 3/17（土）10:00～

販売窓口 オンラインチケット 24時間購入可 ※要事前登録（無料）  
<https://www.e-get.jp/kyoto/pt/>  
ロームシアター京都 チケットカウンター  
075-746-3201

（窓口・電話とも 10:00～19:00／年中無休 ※臨時休館日除く）

京都コンサートホール	チケットカウンター 075-711-3231 (窓口・電話とも 10:00~17:00/第1・3月曜休 ※祝日の場合は翌日)
チケットぴあ	<a href="http://w.pia.jp/t/hangmen/">http://w.pia.jp/t/hangmen/</a> 0570-02-9999 <Pコード:485-510>
ローソンチケット	<a href="http://l-tike.com/hangmen/">http://l-tike.com/hangmen/</a> 0570-08-4005 <Lコード : 57044> 0570-00-0407 (オペレーター) 10:00~20:00
e+(イープラス)	<a href="http://eplus.jp/hangmen/">http://eplus.jp/hangmen/</a>
CNプレイガイド	<a href="http://www.cnplayguide.com/hangmen/">http://www.cnplayguide.com/hangmen/</a> 0570-08-9999 [10:00~18:00]
楽天チケット	<a href="http://r-t.jp/hangmen">http://r-t.jp/hangmen</a>

お問合せ      ロームシアター京都 チケットカウンター  
TEL/075-746-3201 (10:00~19 : 00/年中無休 ※臨時休館日除く)